

科 目 名	教 職 論【健栄・社福】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	青 木 研 作						
開 講 年 次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本授業は、「教師とは何か、教職とは何か」について深く考察するきっかけを与えるために、原理的な側面から考察する教職、教員養成の歴史からみる教職、制度的な観点から検討する教職、具体的な職務内容から明確にする教職など、さまざまなアプローチを採用する。これらを通じて、受講生は理想の教師像をより明確に描くことができる。また、教職に求められる資質・適性・意欲が自らに備わっているかを見極める機会にしてみたい。						
授 業 の 到達目標	①知識・理解 ・日本において教員はどのように養成されてきたのかについて理解できる。 ・現代の教員を取り巻くさまざまな制度について理解できる。 ・教員の職務内容について理解できる。 ②思考・判断 ・現在の教員養成や教員の在り方をめぐって存在する多様な見解を踏まうえて、自らの考えを持つことができる。 ③関心・意欲 ・教員をめぐるさまざまな改革の背景や動向に関心を持つ。 ④態度 ・教師を志す者として、教職に関するさまざまな知識や技能を学びとろうとする意欲を示す。 ⑤技能・表現 ・教職に関するさまざまな知識を踏まえながら、望ましい教師像についての自分の考えを説明できる。						
学 習 方 法	基本的には講義形式で進めるが、グループワーク等を通じて、各自がどのように考えたかを発信する機会を可能な限り設ける。						
テキスト及び参考書等	テキスト：伊藤良高・中谷彪編『教育と教師のフロンティア』見洋書房。 参考書：適宜提示する。						
評 価 基 準 ・ 方 法		到 達 目 標					評価割合%
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現		
定期試験							
小テスト等		○	○		○		10
宿題・授業外レポート		◎					5
授業態度							
受講者の発表		○	○	◎	○		5
授業への参加度				◎			5
その他		◎	○				75
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	イントロダクション：教職の意義						
第 2 週	教職観の変遷						
第 3 週	教員養成の歴史①：第二次世界大戦終結以前の教員養成						
第 4 週	教員養成の歴史②：戦後教育改革と教員養成						
第 5 週	教員養成の歴史③：教職の高度化と現代の教員養成						
第 6 週	世界の国々の教員養成						
第 7 週	教員の採用制度：理念と実態						
第 8 週	教員の職務内容①：校務分掌						
第 9 週	教員の職務内容②：学級経営						
第 10 週	教員の職務内容③：教育課程の編成と教科の授業						
第 11 週	教員の職務内容④：生徒指導						
第 12 週	教員の研修						
第 13 週	教員の任用・服務、身分保障と分限・懲戒						
第 14 週	望ましい教師像について考える						
第 15 週	講義のまとめ：自己の資質・適性と課題						
第 16 週							
備 考	【授業外学習（事前学習・事後学習）】 授業の終わりに200字程度の小レポートを課す場合があるので、その際は、次回の授業時までには作成し、提出すること。また、日頃から教育に関する話題に関心を持って、本や新聞等を読むようにすること。						